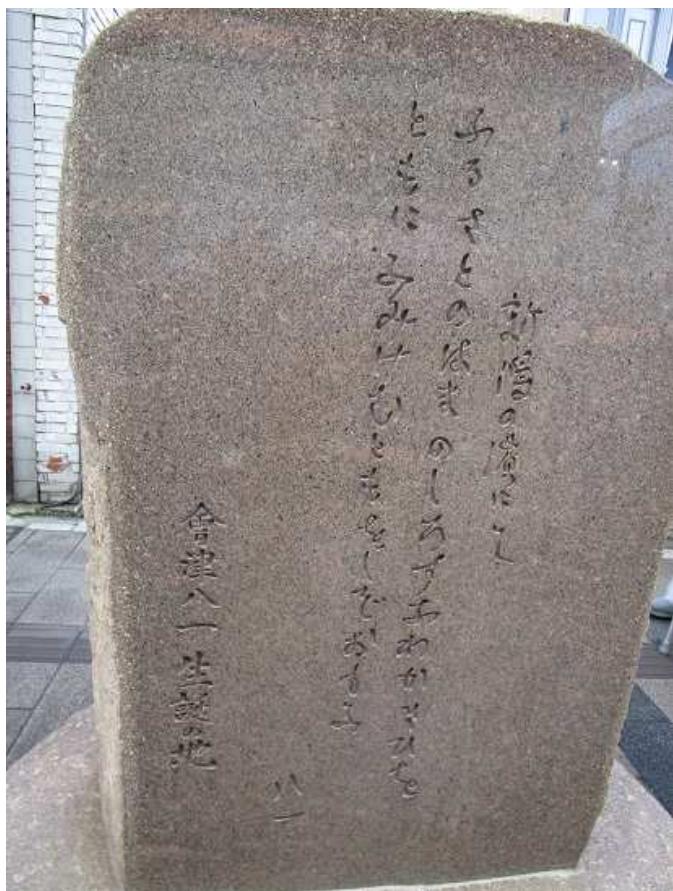


本日の画像ツアー (2/2)

- 2_1_会津八一の生誕地歌
- 2_2_会津八一の生誕地歌
- 3_1_新潟医学所_1
- 3_2_新潟医学所_2
- 3_3_新潟医学所の前史
- 4_1_長岡藩米蔵跡・新潟地裁_1
- 4_2_長岡藩米蔵跡・新潟地裁_2_MG_0639
- 5_1_現在の当該地・地図
- 6=1_日本石油・新潟製油所(旧宝田石油)
- 6=2_日本石油・新潟製油所(同規模施設図)

本日の画像ツアー オマケ

- 8_高橋竹之介の所持せる越後攻略地図



会津八一の生誕地歌碑_新潟の濱にて

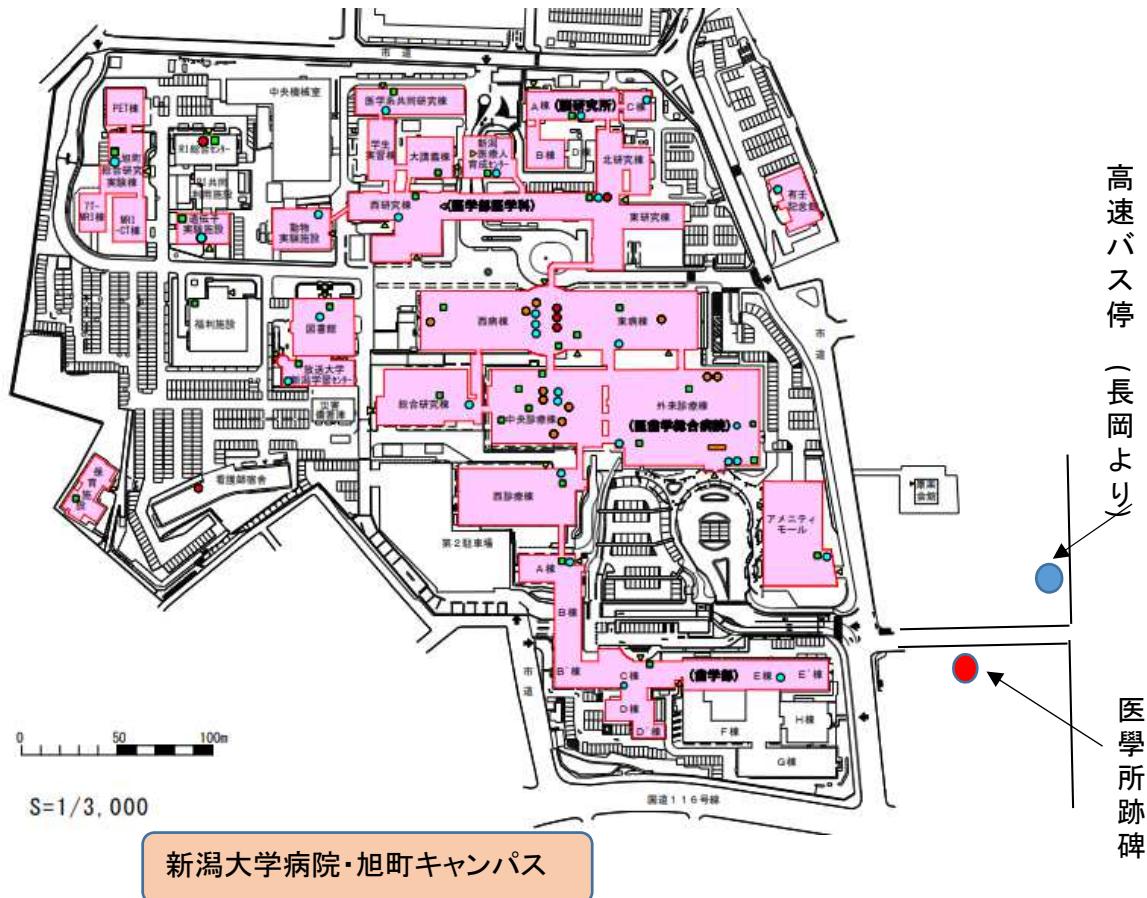
「新潟の濱にて」

ふるさとの はまのしろすな わかきひを
ともにふみけむ ともをしそおもう

会津八一 生誕の地

新潟市古町5番町の通り沿い
会津八一の生家跡の石碑
江戸時代には遊郭「湾月楼」として、
明治に入ってからは老舗料亭「会津屋」になって
賑わったといいます。
歌は昭和20年東京大空襲で被災し傷心を抱いて
新潟へ帰郷したときに詠んだ一首のこと。





1869年5月：新潟町検断 鈴木長蔵、新潟寺町 正福院内に施蘭薬院を開設。

現・新潟市中央区西堀通七番町。

施薬・種痘に携わったが、資金が続かず、まもなく廃止。

施薬・種痘のほか、一等主医 竹山屯により医学教育がなされた。

経費は港仲金（すあい：港の関税）によって賄われた。

1870年11月：仮病院、寺町通四ノ丁に移転。

1871年8月：一等主医 竹山屯辞任、医学教育中止。

1873年7月：新潟町横三番町町会所内に私立新潟病院開設、医学所を併設。

現・征谷小路 第四銀行本店付近。

1873年11月：私立新潟病院、現在の医学町通に
移転、開院式挙行。 [参考写真]

現在の新潟県医師会館から白山公園の一帯。

1875年3月：竹山屯、副医長・助教授として復帰。

1876年4月：私立新潟病院から県立新潟病院に改称。

1879年7月：新潟医学校附属病院と改称。

新潟医学校は乙種で、予科1年・本科4年。初代校長：竹山屯。

長岡藩 米蔵後

(白山神社前、西堀の新潟地裁の盛り土の土壠は当時のまま)



宝田石油が創設した新潟製油所、後に日本石油新潟製油所となる。



1970年代まで石油精製の操業をしていた日本石油新潟製油所。
後、製品配合工場となる。



本日の画像ツアー　おまけ

8_高橋竹之介の所持せる越後攻略地図

